

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	言語処理系論		
英文授業科目名	Compiler		
開講年度	2005年度	開講年次	3年次
開講学期	5学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	渡邊 坦		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
tan@cs.uec.ac.jp	http://www.watalab.cs.uec.ac.jp

【主題および達成目標】
<p>主題：</p> <p>プログラミング言語と言語処理系はどんな考えのもとに作られて いるかを理解し、その理論と実際を学ぶ。</p> <p>達成目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) プログラミング言語の必須機能の理解。 2) BNFによる言語仕様記述の理解とその応用。 3) コンパイラの構成と機能の理解。 4) 字句解析方式の理解と応用。 5) 演算子順位構文解析の理解。 6) 下向き構文解析方式の理解。 7) 小さい言語に対するコンパイラの作り方の理解。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

電気通信大学 平成17年度シラバス

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

計算機通論、データ構造論

【教科書等】

(例)

教科書：渡辺坦「コンパイラの仕組み」朝倉書店

参考書：中田育男「コンパイラ」産業図書

【授業内容とその進め方】

第1回：プログラミング言語の必須機能

第2-3回：BNFによる言語仕様記述、コンパイラの構成と機能

第4-6回：字句解析方式、演算子順位構文解析

第7-11回：下向き構文解析方式

第12-15回：小さい言語に対するコンパイラの作り方

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 成績評価方法：深く理解するためのレポートと総合力を見る期末試験で判定する。

(b) 評価基準：達成目標に述べた1)から7)についての達成度が一定の水準で

あれば合格とする。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないがメール等での問い合わせに応じる。

講義中、講義終了後の時間などを利用して質問することが望ましい。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【学生へのメッセージ】

できあがった理論の説明を主とするのではなく、現実に直面する問題を
どのように解いてゆけばいいかを模索する形で、言語処理の技術を説明する
予定です。

【その他】